

はじめに

本校では、「豊かな人間性および自主自律の精神を育成し、技術者に必要な知・徳・体のバランスのとれた成長を促し、社会の発展のために活躍できる人を育てる」ことを教育理念として教育活動が展開されています。

学生諸君は、5年間の本科課程、そして2年間の専攻科課程において、この教育理念に沿って編成された教育課程に従って自主的にそして積極的に学習することで、目標とする技術者としての素養を身につけることができます。

学生諸君がこのような学習活動を進める上で有用となるものがシラバス（授業計画書：Syllabus）です。これは、本校の学習目標を達成するために編成されている教育課程（カリキュラム）を構成する全教科・全科目毎に、展開される授業内容、達成目標そして成績評価法とその評価基準が具体的に記載されています。また、それぞれの科目の達成目標には、本校の学習目標との関連及びそれぞれ密接に関連する科目が示されています。

学生諸君は、このシラバスに記載されている「**勉学の心構え**について」を読んだ上、科目毎のシラバスをよく見て、その科目の学習の意義・目的及び内容を十分に理解した上で自主的・積極的な学習に励むことで、より有意義な学校生活を送ることができる筈です。

また、本校の教育課程には、学生諸君が将来国際的な活躍ができる能力を育むことができるような配慮もなされています。学生諸君が学習する授業内容は国際標準に照らして十分な水準です。本科課程の第4、5学年と専攻科課程の4年間で展開されている科目の達成目標には、それぞれ JABEE 基準1 学習・教育到達目標との対応が示されています。このことは、この4年間で展開されている「環境・生産システム工学」教育プログラムが JABEE（日本技術者教育認定機構）により認定されたもので、プログラムの質保証がなされていることを背景としているものです（JABEE については「**勉学の心構え**について」を参照してください）。

シラバスに記載されている事項は、それぞれの科目について、教員と学生との間で交わされる授業に関する契約書であると理解されるものです。そして、その内容は科学技術の急速な進展や社会環境の著しい変遷等々に対応して常に見直されるべきものです。教員と学生諸君とがシラバスという契約書通りに授業が展開されていることの点検を行い、その内容を不断に見直し、教育内容・教育方法の改善をはじめとした教育改善を計画的に進めていく努力を継続しなければなりません。

苫小牧工業高等専門学校 校長 黒川一哉